

甲府警察署からののお知らせ



甲府警察署
生活安全課

偽通販サイト詐欺被害が多発



インターネット通信販売サイト（ECサイト）は便利ですが、偽サイトに騙され、お金を騙し取られる被害があつとを絶ちません。利用時の注意事項をいくつかまとめました。被害に遭わないためには、偽サイトは「ある」と考えて、これらを参考に自分で調べて判断しましょう。

注意すべきポイント① 検索サイトの結果を信用しない



被害のほとんどは、Google等の大手検索サイトの検索結果から購入した人の被害です。検索の結果出てきたサイトは、偽サイトの場合もあります。信用性が担保されたものではないのです。SEOという技術を悪用し、偽サイトを検索の上位に出すことも可能です。

注意すべきポイント② 決済方法が銀行振込による前払い

支払い先が個人の銀行口座になっている場合詐欺である可能性が非常に高いです。また、クレジットカード決済情報を入力させ注文を受理したように見せかけたうえで、「機器の不具合でクレジットカード決済が利用できなくなった。こちらの口座に振り込んで」とメールを送り、クレジットカード情報と現金の二重取りを企てる手口もあります。



注意すべきポイント③ 他のサイトでは品切れしたり、価格が高騰している商品なのに、在庫がある



品薄・希少商品の購入時は特に注意!

人気で品薄になっている商品の在庫があると、ついうれしくなってしまう、初めて利用するサイトでも登録・購入してしまうことがあります。ですが少し待ってください。そういった購入者の心理状態を狙った詐欺の可能性が高いです。少し冷静になって確認しましょう。また最近は、妥当な値段より少し安い値段を設定するなど巧妙になってきています。

注意すべきポイント④ 不自然な日本語が使われている

会社概要や決済方法など、難しい日本語の記載部分が不自然な表記になっているまたは一部の漢字が簡体字に置き換わっているサイトがあります。そういった場合、偽サイトの可能性が高いと言えます。ただし最近は偽サイトでも完璧な日本語で作られている場合があるため、それだけで一概に本物のサイトとは言えません。

注意すべきポイント⑤ 営業者の電話番号等が記載されていない

ECサイト運営者は、責任の所在を明確にするため

- ① 事業者の名称（法人の場合）
又は氏名（個人事業者の場合）
- ② 事業者の住所
（個人事業主の場合は事業所の所在地）
- ③ 事業者の電話番号

を表示しなければならないと特定商取引法で定められており、これらが表示されていないのは偽サイトです。ただし、表記されていたとしても、実在の法人組織の情報を盗用して記載していることが多いので、単に書いてあるだけでは信用できません。

以上の注意事項にあてはまらなかったとしても、偽サイトの手口・技術は日進月歩です。「これなら大丈夫」という確実なことはありません。

ネット検索で購入予定のショップの評判を調べたり、運営会社から偽サイトの注意喚起が行われていないか、よく確認しましょう。

パスワード管理
二段階認証設定



不正アクセス被害を防ぐために

- 二段階認証を利用する
- 普段使っている通販サイトは、ブックマークして常にそこからアクセスする
- IDとパスワードを適切に管理し、パスワードは簡易なものを使わない
複数のサイトで使いまわさない
- セキュリティソフト、OSをアップデートして最新の状態で利用する
- セキュリティ会社などが発表する注意喚起情報をチェックし、通販サイトをめぐる最新の詐欺手口を知る
- 毎月送られてくるクレジットカードの利用明細をしっかりと読んで、身に覚えのない請求が来ていないことを確認

偽サイトは日々大量に生まれています



知識を得て財産を守りましょう

甲府警察署 TEL 055-232-0110